

[農林水産省補助事業] 平成 26 年度生産環境対策事業

有機農業支援事業・有機農業栽培技術体型化促進対策

有機農業営農ビジョン構築支援事業報告書

有機農業における営農計画マニュアル作成の報告書

[マニュアル及びシミュレーションモデル]

平成 27 年 3 月

一般財団法人 日本土壌協会

は し が き

(一財) 日本土壌協会では、平成 26 年度に農林水産省から「有機農業営農ビジョン構築支援事業」を受託して事業主体となり、「有機農業農家研修カリキュラム」や「有機農業営農計画支援マニュアル」の作成を行うことになりました。

この報告書は、「有機農業営農計画支援マニュアル」の部分の 26 年度におけるものです。

本年度においては、過去に行ってきた水稻の先進事例農家及び「環境保全型農業推進コンクール」で受賞した稲作農家・団体の中から 15 戸（3 地域×5 事例）の調査農家を選定して、地域性を反映した営農計画の作成に必要な技術データを整理しました。

調査ではコスト、導入技術別作業時間、収量水準、販売単価等の調査を行い、経営内における採用技術の組み合わせから実現される経営シミュレーションを行います。

26 年度は、有機稲作部門のみを対象に、プロトタイプを作成したが、有機農業経営計画のためには野菜等の他部門の取り込みが必要となりますが、この点は今後の発展に待つところです。

本報告書の取りまとめに当たりましては、農事に多忙の中、長時間にわたる調査にご協力頂いた経営者の皆様に篤くお礼を申し上げます。また、調査に同行して頂いたから協議会の委員、及び農林水産省をはじめ、都道府県にご協力をいただいたことに対し、深く感謝致します。

平成27年3月31日

一般財団法人 日本土壌協会
会 長 松本 聡

平成 26 年度 有機農業営農ビジョン構築支援事業協議会委員

金子 美登	代表、全国有機農業推進協議会理事長、有機農業実践家（埼玉県）
根本 久	カリキュラム作成主査、保全生物的防除研究事務所代表 元埼玉県水田農業研究所長
上野 秀人	カリキュラム作成、（国）愛媛大学農学部教授
稲垣 栄洋	カリキュラム作成、（国）静岡大学大学院農学研究科教授
岩石 真嗣	カリキュラム作成、（公財）自然農法国際研究開発センター普及 部長
小池 俊吉	営農計画マニュアル作成主査、（元）（独）東北農業研究センター 東北地域活性化研究チーム チーム長
高橋 太一	営農計画マニュアル作成、（独）東北農業研究センター生産基盤研 究 領域農業経営グループ長
田中 基晴	営農計画マニュアル作成、（元）（独）九州沖縄農業研究センター 研究管理官
千葉 康伸	営農計画マニュアル作成、NO-RA～農楽代表、有機農業実践家 （神奈川県）
猪股 敏郎	全体調整、（一財）日本土壌協会専務理事

「有機農業営農計画作成マニュアルの作成」部分における 事業報告内容について

本事業部分では、有機稲作を中心に営農計画の作成に資するデータの収集、営農シミュレーション・ソフト及びマニュアルの作成を行った。

報告内容は、以下の通り。

- 1) インストール編.doc
「有機農業における経営設計のシミュレーションソフトウェア」(ワード)
- 2) 操作編.doc
「有機農業における経営設計のシミュレーションソフトウェア」(ワード)
- 3) 営農計画シミュレーションrelease20150331.xlsm
(マクロ プログラム組のエクセルソフト)
- 4) 調査データの整理のために (PDFファイル)
- 5) シミュレーションの代表的画面の表示 (PDFファイル)